

# ウイルス性感染症と臨床検査法

ウエスタンブロット法

## ウエスタンブロット法 (WB)

ウイルス抗原を電気泳動 (SDS-PAGE) を用いて分子量の差で分離後、ニトロセルロース膜などにさらに電気泳動で転写します。

(この転写をブロッティングといいます)

この、転写された膜の表面で抗原抗体反応を行い、特異抗体の検出をする方法です。

抗体の  
検出法

抗体の検出法